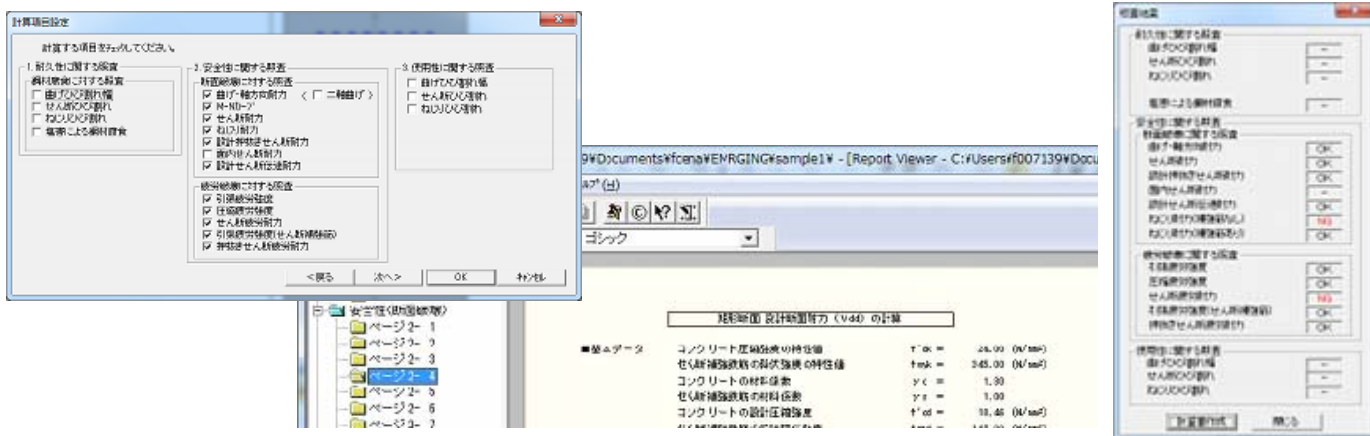


EMRGING V12.4 レベルアップ内容

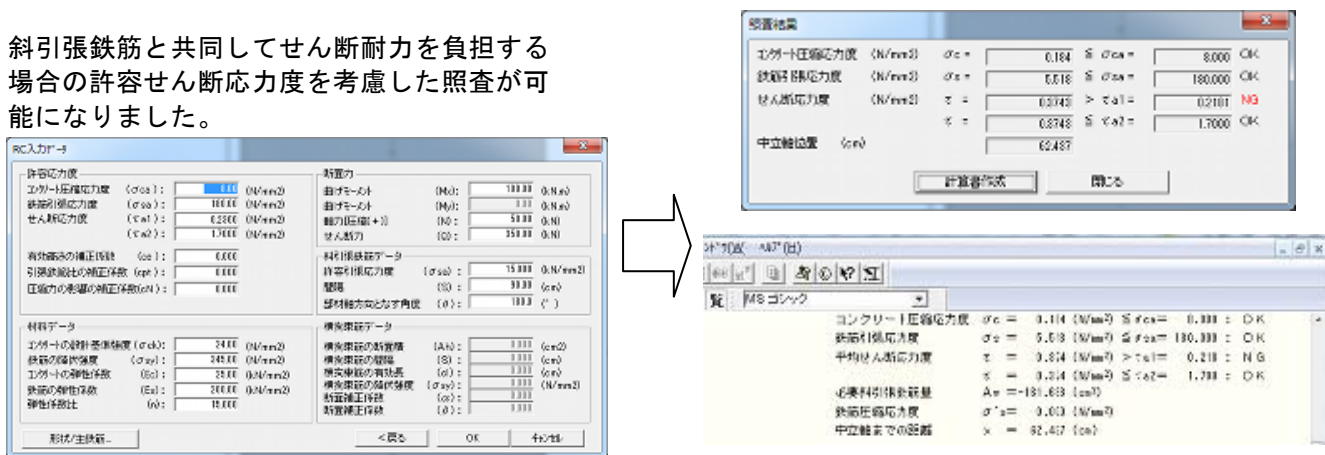
1. 限界状態設計法：コンクリート標準示方書(2007年制定および2012年制定)に対応しました。

- ・要求性能の分類を変更し、新規に使用性の照査を追加しました。
- ・設計せん断耐力の計算を変更しました。
- ・せん断スパン比に応じて、設計せん断圧縮破壊耐力の検討を行う機能を追加しました。
- ・ねじり補強筋のない場合のねじり耐力の計算式を変更しました。
- ・塩害による鋼材腐食(旧塩化物イオン濃度)の計算式を変更しました。



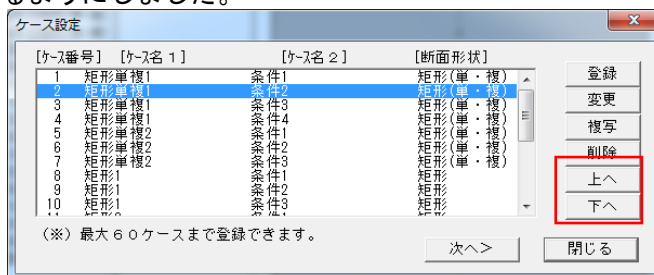
2. 許容応力度法：道路橋示方書(IV 下部構造編)に対応しました。

- ・コンクリートのみで負担する場合のせん断応力度の補正係数を考慮できるようになりました。
- ・斜引張鉄筋と共同してせん断耐力を負担する場合の許容せん断応力度を考慮した照査が可能になりました。



3. その他の追加機能について

- ・計算ケースの順番の入替をできるようにしました。



4. 補足

鉄道基準および2002年制定コンクリート標準示方書はV12.4よりご利用できません。
 鉄道基準および2002年制定コンクリート標準示方書をご利用の場合はV12.3をお使いください。